

## 令和元年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定

令和元年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者が、令和2年3月13日の理事会において下記のとおり決定いたしました。なお、優秀賞の授与は、今年度については賞状の送付により行うものとします。

### 記

#### 【「地盤工学会誌」年間最優秀賞】

(敬称略)

受賞業績名／業績発表文献	受賞者名
「福島第一原子力発電所の廃止措置に貢献する地盤工学」 ／2019年10月号掲載（総説）	小峯 秀雄（早稲田大学理工学術院）
●授賞理由：本記事は、2011年3月に被災した福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた、地盤工学分野の取り組みや将来的な展望を平易に記述されており、特集テーマの総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

#### 【「地盤工学会誌」優秀賞】

「2018年7月の西日本豪雨による土砂災害の特徴」 ／2019年7月号掲載（総説）	土田 孝（広島大学）
●授賞理由：本記事は、2018年7月の西日本豪雨による、広島県における災害の特徴や考察を論じながら、近年、激甚化の傾向にある豪雨災害に対する地盤工学分野の課題や使命に関して、強い熱量をもって記述されており、特集テーマの総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	
「補強土壁の変状事例から学んだ教訓と課題」 ／2019年11月号掲載（総説）	澁谷 啓（神戸大学大学院）
●授賞理由：本記事は、補強土壁に関する筆者の豊富な知見や経験をもとに、「教訓」という形で設計及び施工上の課題やその策、将来の展望について非常に具体的かつ分野網羅的に記述されています。補強土壁に携わる研究者や実務者にとって、それぞれの目の前にある課題解決の後押しとなるような、大変重要な内容が論述されており、特集テーマの総説としてふさわしい記事であることから、多くの読者に支持されました。	

(注：受賞者の所属は掲載当時)